

三重電気工業報

発行所
三重県電気工事工業組合
三重県電気工事協会の会

昭和48年度定時総会に際して

中部電力取締役津支店長あいさつ



本日ここに、三重県電気工事協会の昭和四十八年度定時総会が開かれ、誠に盛況の中にお喜び申上げました。皆様方の益々のご提案を心からお喜び申上げます。日頃は当社の業務運営に對しましては格別のご理解とご支援ご協力を賜っており、誠にありがとうございます。

さて、皆様方ご承知の通り、七月・七月の電気料金改定を中心とする電気供給規程の変更認可の申請をいたしました。当社は昭和四十八年四月に平均七・八九％の料金改定を実施して、各分野にわたるきめ細かい企業合理化策を推進し、取次の均衡を保持しようとする努力を重ねてまいりました。

しかしながら、昨年の中東紛争による石油価格の高騰によって取支の破綻をきたし、供給するに足らぬ赤字が累積するに至り、異常な事態に立ち至ったものであります。昨今の二重の物価が高騰する社会情勢の中で電気料金の改訂をお願いすることは誠に心苦しい限りでございますが、まはあらゆる経営努力を重ね、まはらゆる事業費削減の維持が危機に瀕し、

いは一般社会に不測の混乱を及ぼす結果となることを要慮いたしまして、改訂の申請をいたしました。皆様方のご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

また、改訂の申請をいたしました。皆様方のご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

全日電工連 第11回通常総会

とき 昭和49年5月28日
ところ 東京半蔵門東条会館

- 第一号議案 昭和48年度事業報告書、貸借対照表、財産目録を承認する件
- 第二号議案 昭和49年度事業計画案の承認を求めめる件
- 第三号議案 昭和49年度取支予算案の承認を求めめる件
- 第四号議案 昭和49年度賦課金ならびにその徴収方法の承認を求めめる件

第57回 中部電気工事 協会の連合会総会

とき 昭和49年5月24日
ところ 静岡県清水市三保町の松原(三保園ホテル)

- 第五号議案 昭和49年度借入金金の最高限度額決定の件
- 第六号議案 取引銀行決定の件
- 第七号議案 本日の決議中その本旨に反せざる字句の訂正を議長に一任の件

中部連合会理事會

とき 昭和49年7月3日
ところ 大垣市 通産局施設課長及下各県係官出席

- 一、家庭用電気設備安全調査の推進について
- 二、小規模工事センターの運営について
- 三、技術指導講習会(経営管理講習会、労働管理講習会、労務関係講習会)の講習について
- 四、その他(特記事項)

昭和49年度事業計画

日時 昭和49年5月16日
場所 伊勢市観光文化会館

- (1) 情報資料の収集ならびに周知徹底
- (2) 健康保険組合設立および共済制度実施
- (3) 調査研究事業
- (4) 調査研究事業
- (5) 調査研究事業

昭和49年度定時総会

日時 昭和49年5月16日
場所 伊勢市観光文化会館

- 一、従業員の感電および緊要災害の軽減
- 二、緊要災害の軽減
- 三、緊要災害の軽減

昭和49年度定時総会

日時 昭和49年5月19日
場所 三重県立津高等学校

- (1) 安全作業(含救急法)講習会
- (2) 安全作業(含救急法)講習会
- (3) 安全作業(含救急法)講習会

昭和49年度定時総会

日時 昭和49年7月21日
場所 三重県立津工業学校

- (1) 安全作業(含救急法)講習会
- (2) 安全作業(含救急法)講習会
- (3) 安全作業(含救急法)講習会

今夏の電力供給について

今夏の電力供給のみならず、光化学スモッグが発生した場合には自治体から出力抑制の要請があり、その量は実に二〇〇万KWに及び、これに比べて本年八月の準備力は不足しています。石油ショックにより需要が鈍る

今夏の最大電力バランス表(発電端) (千KW)

項目	7月	8月	9月
供給力	12,397	12,394	12,008
需要力	10,860	11,260	10,720
予備力	1,537	1,130	1,288
予備率	14.2	10.0	12.0
発電抑制量	△1,219	△1,219	△1,219
予備率	318	△85	69
予備率	2.9	△0.8	0.6

(注) 光化学スモッグ時の発電抑制量は武野地区を除く

昭和49年度定時総会

日時 昭和49年7月21日
場所 三重県立津工業学校

- (1) 安全作業(含救急法)講習会
- (2) 安全作業(含救急法)講習会
- (3) 安全作業(含救急法)講習会

昭和49年度定時総会

日時 昭和49年7月21日
場所 三重県立津工業学校

- (1) 安全作業(含救急法)講習会
- (2) 安全作業(含救急法)講習会
- (3) 安全作業(含救急法)講習会

家庭用電気設備安全運動

電気機器の効率的な使い方による節約例

機器	効率的な機器の使い方	効 果		
		節約対象ワット	1日の使用時間	1ヶ月の節約電力量 (KWh)
外 灯	手動スイッチを自動点滅器にする	白熱灯 40	2	2.4
		けい光灯 25	2	1.5
		水銀灯 130	2	7.8
扇風機	強風を弱風にする (強→50w 弱→30w)	20	4	2.4
冷蔵庫	【設置場所】 風通しのよくない発熱物のそば 風通しのよい発熱物のない所	150	運転率悪い所65% よい所50%	16.0
テレビ	プレートテレビのスイッチを中間スイッチ等で電源を切る	7	8	1.7
冷 房	【設置場所】 日向で風通しの悪い所 ↓ 日陰で風通しのよい所	消費電力 1050 (出力750)	-	49.0
	断熱材を使う場合 990w " を使わない場合 1280w (同程度の効果を得る時の容量差)	290	-	62.6
こたつ	温度調節を1℃だけ上げる	1000	8	16.4
	床面にマットを敷く	76	3	6.8

今後の電力供給の見通しは、新規電源の着工が殆んどなく、現状のまま推移いたしますと、五年頃には需要が供給を上回るようになります。したがって当社といたしましては電源開発に鋭意努力し、電力供給の安定確保に努める所であり、今後とも皆様方の一層のご支援ご協力を賜りますようお願いいたします。

ご承知の通り電気の約80%が石油から作られており、石油資源は有限な資源であり、電気は貴重なエネルギーであると思えます。大表に電気機器の効率的な使い方、設置方法等について一例を掲げておきましたのでお役に立ててください。

- 一、目的
一般家庭における配線の調査と適正配線に関する啓蒙を行うとともに不良配線の改修工事を実施し、一般家庭に対する設備の保安を確保し併せて需要サービスの向上に資する。
- 二、名 称
家庭用電気設備安全運動
- 三、実 施 地
昭和49年10月1日
昭和49年10月31日
昭 和 地 域 三 重 県 下 全 域
- 四、主 催
三重県電気工業業組合、三重県電気協会の協賛
- 五、協 賛
中部電力株式会社津支店
- 六、協 賛
中部電力株式会社津支店
- 七、後 援
三重県 名古屋通産産業局
- 八、実施項目
① 家庭用電気適正配線に関するPR
② 家庭用電気配線改善に関する無料相談
③ 家庭用電気配線工事に関する無料相談
④ 小規模工事の早期処理
⑤ 町単位(字)集団改修工事促進
- 九、実施要領
(1) ボスターを組合員全員

引込・内線工事支払種別々工量・点数表

昭和49年度 引込・内線工事請負契約について

【別表1】 内線工事

支 払 種 別	工 量		点 数						
	取付	撤去	取付	撤去					
普 通	低 圧	単 独 計 器	単相小 コ	8	4	(13)	24	-	
			メータ箱 有	8	4	(31)	51	-	
			三相小	8	4	(42)	65	-	
			メータ箱 無	8	4	(55)	80	-	
			メータ箱 有	5	3	-	-	-	
	高 圧	変成器組み合わせ	41	24	(4)	7	-		
	高 圧	変成器組み合わせ	84	46	(16)	27	-		
	検 査	低 圧	単 独 計 器	単相小 コ	6	3	(13)	24	-
				メータ箱 有	6	3	(31)	51	-
				三相小	6	3	(42)	65	-
メータ箱 有				6	3	(55)	80	-	
メータ箱 無				4	2	-	-	-	
高 圧		変成器組み合わせ	26	17	(4)	7	-		
高 圧		変成器組み合わせ	76	30	(16)	27	-		
リミッタ		コ	5	3	-	-	-		
リミッタ底板		コ	4	-	-	-	-		
計 器 雑		メータ箱 有	単相小	18	-	(82)	129	-	
	メータ箱 有		18	-	(100)	154	-		
	三相小		18	-	(111)	168	-		
	メータ箱 有		18	-	(125)	183	-		
	メータ箱 無		18	-	(70)	105	-		
	特別検定	メ	15	8	-	-	-		

(注) 特別検定は中部計器のみ適用 () は48年度契約

【別表3】

支 払 種 別	工 量		点 数			
	取付	撤去	取付	撤去		
臨 時	単 独	2.0mm	(7) 8	(2) 3	(25) 42	(28) 51
		A	(8) 10	(3) 4	(42) 77	(48) 95
		B	(8) 10	(3) 4	(68) 115	(79) 144
		C	(8) 10	(3) 4	(101) 165	(104) 183
		A	(9) 11	(4) 6	(62) 104	(78) 137
	連 接	B	(9) 11	(4) 6	(100) 159	(109) 186
		C	(9) 11	(4) 6	(147) 230	(153) 251
		2.0mm	(5) 6	(1) 2	(16) 28	(18) 32
		2.6	(5) 6	(1) 2	(37) 60	(33) 56
		3.2mm	(7) 8	(2) 3	(42) 65	(47) 75
雑	施設位置の変更する場合	2.0mm	6	-	(12) 22	(5) 6
		2.6	6	-	(16) 28	(9) 9
		3.2	8	-	(21) 35	(12) 12
		4.0	10	-	(35) 56	(21) 21
		5.0	12	-	(45) 70	(32) 32
	38mm ²	14	-	(10) 21	-	
	60mm ²	14	-	(14) 27	-	
	100	14	-	(16) 31	-	
	上記以外の場合	8	-	(31) 47	(10) 20	
	引込腕木	本	5	4	-	-
引込線継柱	本	5	-	(20) 41	-	
農電復活	ケッチ取付替	有	10	-	-	-
		無	6	-	-	-

(注) 1. () は48年度契約を示す。
2. 臨時工事の工量が増加したのは、臨時期間を4ヶ月から1年未満に延長したためである。

1. 工費関係

- (1) 工 量
別表1のとおりとします。
- (2) 工量単価
つぎのとおり、前年度契約に対して18.6%値上げの改定とします。
(算定内訳は別紙のとおり)

工量単価	49年度		48年度		値上り分		最近の上昇率	
	円/工量	円/工量	円/工量	円/工量	%	%	S48	S47
	85.70	72.30	13.40	18.6	11.2	11.0		

2. 材料費関係

- (1) 点 数
支払種別々点数は別表1のとおりとします。本年の材料費変動分は全て点数に織込みますが、変動率は総合で53.9%の上昇となります。なお内訳は、取付材料費51.4%撤去材料費35.0%の上昇です。
- (2) 点数単価
従来、材料点数単価は銅面スライド方式を採用してきましたが、最近材料代に大きな

ウェイトをしめるDV線の価格が、銅面との相関によらず、決定されるという不安定な状況にありますので、本年度は銅面スライド方式に代え、DV線標準購入単価にスライドさせる方式を採用いたします。

$$\text{算式} = 21.20 \times \bullet (\text{DV線品目別ウェイト} \times \text{毎月標準購入単価} + \text{その当初織込単価} + \text{他材料ウェイト}) + 4.00 \text{円}$$

《引込線工事撤去点数単価算定式》

$$\text{算式} = 16.60 \text{円} \times (\text{銅面ウェイト} \times \text{毎月初2号銅線層価} + \text{銅以外層ウェイト})$$

なお内線工事の点数単価についても屋外メータ箱標準購入単価にスライドさせる方式を採用いたします。

《内線工事取付点数単価算定式》

$$\text{算式} = 21.20 \text{円} \times \bullet (\text{メータ箱品目別ウェイト} \times \text{毎月標準購入単価} + \text{当初織込単価} + \text{その他材料ウェイト}) + 4.00 \text{円}$$

【別表2】 引込線工事

支 払 種 別	工 量		点 数			
	取付	撤去	取付	撤去		
普 通	単 独	2.0mm	8	3	(27) 47	(12) 14
		A	10	4	(46) 83	(24) 27
		B	10	4	(70) 119	(42) 46
		C	10	4	(96) 158	(57) 62
		A	11	6	(66) 110	(38) 45
	連 接	B	11	6	(105) 168	(67) 77
		C	11	6	(143) 224	(90) 103
		A	12	7	(115) 190	(65) 77
		B	12	7	(186) 292	(122) 139
		C	12	7	(256) 392	(158) 178
引 込	雑	A	14	8	(165) 261	(102) 117
		B	14	8	(285) 431	(178) 199
		C	14	8	(384) 571	(229) 254
		A	18	10	(22) 37	(3) 7
		B	18	10	(22) 37	(3) 7
	連 接	C	18	10	(22) 37	(3) 7
		A	20	12	(22) 37	(3) 7
		B	20	12	(22) 37	(3) 7
		C	20	12	(22) 37	(3) 7
		A	22	14	(34) 50	(3) 7
引 下	D V 線 チューブ	B	22	14	(31) 47	(3) 7
		C	22	14	(30) 45	(3) 7
		A	6	2	(21) 37	(9) 9
		B	6	2	(34) 58	(16) 18
		C	8	3	(54) 85	(28) 33
引 下	雑	4.0	10	3	(87) 136	(48) 56
		5.0	11	3	(129) 197	(74) 84
		38mm ² 以上	11	3	(25) 43	(2) 5
		D V 線	5	2	(17) 29	(4) 4
		チューブ	5	2	(27) 38	(4) 4

引込線工事方法の改定について

新技術、新製品の開発に伴い、従来の外線工事基準を見直し改定をはかりました。その結果引込線工事に関連する主な改定点は次のとおりです。お知らせいたします。

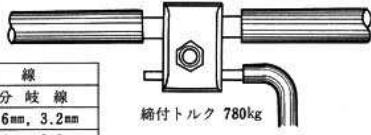
ア) 接続箇所の絶縁処理

P Jコネクタ、引込用P JコネクタおよびH型コネクタの場合は各々の絶縁カバを取付け、専用カバのないものはビニルテープまたはUSテープにより4回(8層)以上密着巻きする。

イ) コネクタ接続

a. 引込線用P Jコネクタ

種類	適用電線	
	本線	分枝線
5型	4.0mm 5.0mm	2.6mm, 3.2mm
60型	60mm ²	2.6mm, 3.2mm

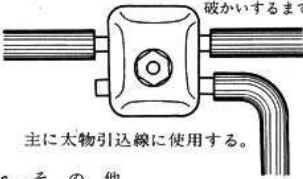


アルミキャップが破かいするまで締付ける。

一般的な工法で最も多く使用される

b. P Jコネクタ

プラスチックキャップが破かいするまで締付ける。



主に太物引込線に使用する。

種類	適用電線	
	本線	分枝線
5U型	5.0mm以下担当	
38 I型	38°	38°
38 II型	38°	3.2mm, 4.0mm, 5.0mm, 22°
60 I型	60°	60°
60 II型	60°	4.0mm, 5.0mm, 22°, 38°

c. その他

低圧線と引込線との接続には分配器的な多連ケッチ、集合端子などがあり、これの低圧線との接続にはP Jコネクタを使用する。

5. ケッチ類の取付

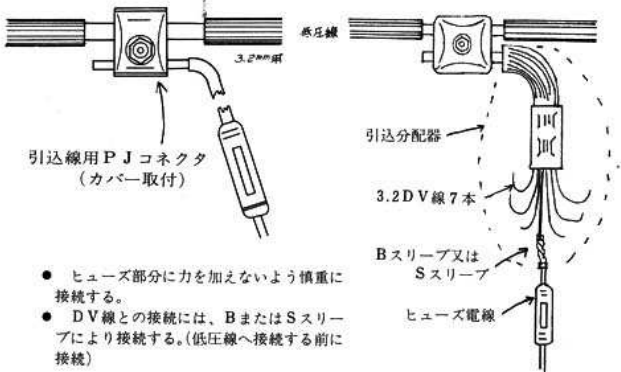
(1) ケッチの取付は次による。

- ア、低圧線支持碼子に近く緑まわしの反対側に取り付ける。
- イ、引込腕金(木)より引込ものは、引込幹線との端末に。
- ウ、ケッチの取付

供給方式	ケッチ取付個所と個数
100V 単二	電圧線側…1コ
200V 単二	電圧線のいずれか片側…1コ
100/200V 単三	電圧線…2コ
200V 3相3線式	電圧線…2コ(共用方式の場合は動力専用相を省略する。)

エ、ヒューズ電線の取付例

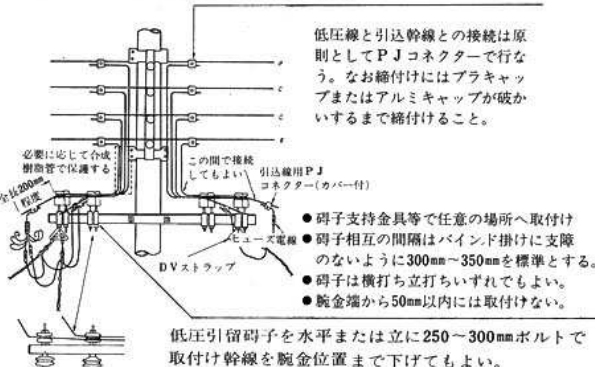
○低圧線または引込幹線からの分枝



- ヒューズ部分に力を加えないよう慎重に接続する。
- DV線との接続には、BまたはSスリーブにより接続する。(低圧線へ接続する前に接続)

6. 引込幹線

ア、電線路と同方向に引込腕金を取付けた場合



~中電ニュースの発行にあたって~

協力会の皆様平素は格別のご協力を賜りありがとうございます。さて、中部電力津支店としては、協力会の皆様のご要望にこたえるため、役員会、懇談会等機会のあるごとに、種々の資料を配布して係員が説明をしています。竣工検査時点での手直状況ならびに、受付時点での審査結果から、未だ不徹底な面もみられるようですので、今回改訂のルールで「中電ニュース」として印刷協力会のみならず配布することとしましたので、

従業員一人一人まで御徹底下さい。なお作業安全面についても参考資料として掲載しますのでご利用下さい。

記

一、配布スケジュール

二カ月に一回
(六月、八月、十月、十二月、二月、四月)

二、内容

- (1) 契約面
- (2) 技術面の説明
- (3) 安全
- (4) その他

※見やすいところに貼付けてご利用下さい。

1. ケッチおよびヒューズの容量

電灯・電力とも負荷設備に関係なく引込線太さにより次の通り適用する。

引込線太さ	電灯・電力
3.2mm以下	ヒューズ電線(多連ケッチに余裕スペースがあれば既設多連ケッチを使用)
14mm ²	
22mm ²	()
38mm ² 以上	ケッチレス(ケッチ省略)

2. がいしの使用区分

引込線太さにより次のとおり

がいしの種類	引込線太さ	備考
DV線引留がいし	14mm ² 以下	14mm ² は架空巨長が20m以下に限る
緑まわしがいし	14mm ² ・22mm ²	14mm ² は架空巨長が20m超過のとき
低圧引留がいし	22mm ² 以上	

3. 低圧線との接続 接続方法の種類と適用

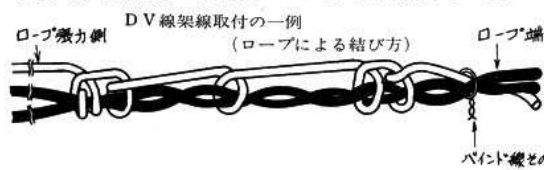
引込線太さ	接続方法	
	単三引込の中性線	その他
※ 2.0mm 2.6mm 3.2mm	引込用P Jコネクタ (別名ミニコン)	引込線用P Jコネクタ (別名ミニコン)
14mm ² 22mm ²	P Jコネクタ	P Jコネクタ
38mm ² 以上	P Jコネクタ(社給)	P Jコネクタ(社給)

注. 2.0mm~22mm²に使用するコネクタは全て業者負担であり、コネクタ以外の接続は認めない。

※ 2.0mm引込線の場合は2.0mmをダブルに折り引込線用P Jコネクタに接続させる。

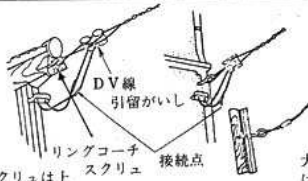
4. DV線取扱い上の注意

- (1) DV線の絶縁体の品質および厚さは600Vビニル線と同一であるが、線心をより合せてあるため、その取扱いの良否によっては短絡事故の原因となるので十分注意して取扱う。
(注) 車で踏んだり、外傷をつけた場合は必ずその部分の各線にテープを巻くこと。
- (2) 太い電線やこう長の長いDV線の取付に際しては、シメラバイス等で電線を直接締めつけて緊張する方法では、電線の被覆をいため短絡の原因となるから、引張強度の十分あるロープ等により緊張すること。



DV線の弛度の巨長長さに対する比率は下表を標準とすることが望ましい。この場合において、引込線取付点の強度には十分留意すること。

電線太さ	季節	夏期	冬期
3.2mm 以下		3	2
14mm ² 以上		4	3



小リングコースクリュは上図の如く柱などの主造管材に直接接し込む場合に使用する。

大リングコースクリュはラス張りの建物等特殊な場合に使用する。

(注) 低圧引込線の家屋側の施設位置は次を考慮して選定することが望ましい。

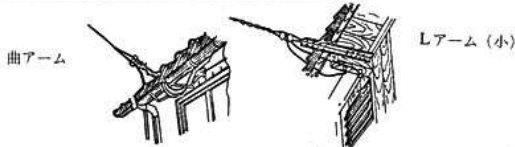
- (1) 支持点は引込線の最悪時張力に十分耐える造管材に堅ろうに施設すること。
- (2) 引込線が外傷を受けにくい場所であること。
(氷雪が多い地方では屋根からの落水雪に特に注意すること)
- (3) 支持点は耐久性のある施設とすること。
- (4) 引込線が屋上を通過しないで施設できること。
- (5) 引込線が金属製煙突、アンテナまたはこれらの支線に接近しないで施設出来ること。
- (6) 地上高あるいは他物との離隔がとれない場合は引込線支持パイプ等を使用する。

イ Lアームまたは曲アームを使用する家屋側取付点

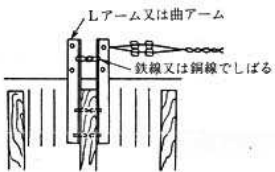
a アームは直角方向の張力に弱い次により支線またはアームのダブル取付をして補強をする。

アームの補強要否

引込線太さ	架空巨長	アームと電線張力との角度(a)	
		20度以下	20度超過
3.2mm以下	20m以下	否	否
	20m超過	必要に応じて	要
14mm ²	10m以下	否	否
	10m超過	必要に応じて	要
	20m超過	否	要



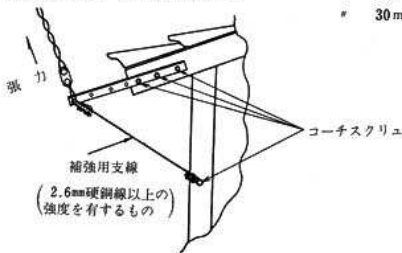
b アームをダブルに取付けて補強する方法



(参考) Lアームの頂部許容張力
出巾 15cm-88kg
20cm-66kg

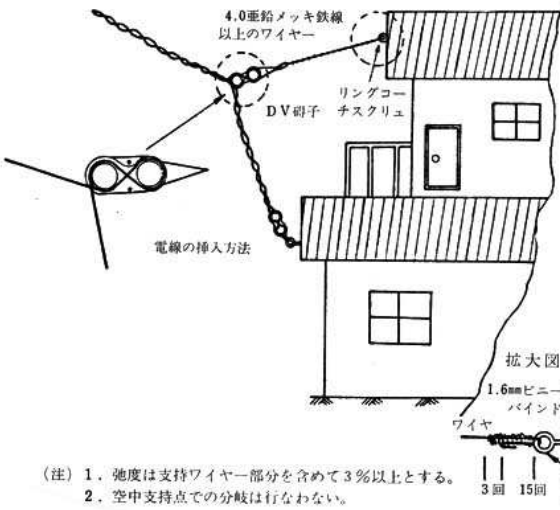
(参考) 3.2DV線の張力(2%弛度)風圧加重含む
巨長 10m-56kg
15m-84kg
20m-113kg
30m-168kg

c 支線を取付けて補強する方法

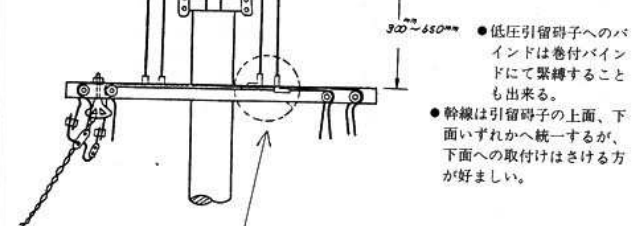
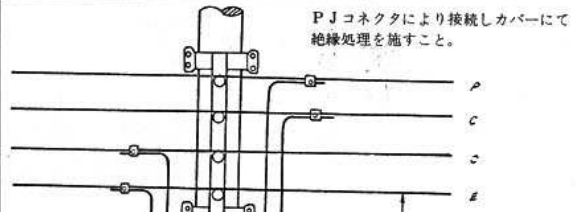


(3) ワイヤーストリング工法

離隔距離確保等のため、電柱から直接建物へ引込むことが出来ない14mm²以下の引込線に適用する。

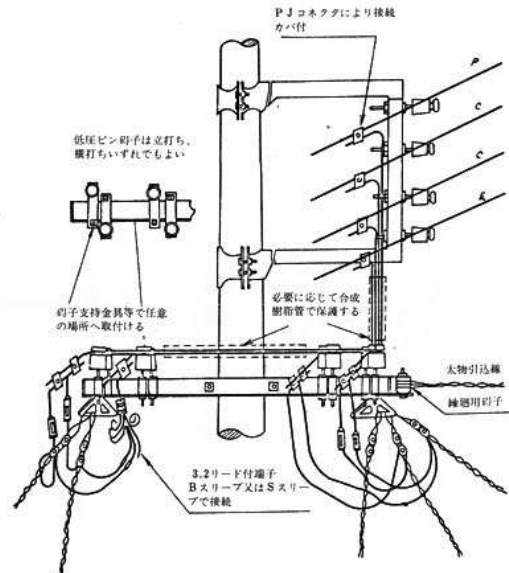


- (注) 1. 弛度は支持ワイヤ部分を含めて3%以上とする。
2. 空中支持点での分岐は行なわない。



●低圧引留端子へのバインドは巻付バインドにて緊縛することも出来る。
●幹線は引留端子の上面、下面いずれかへ統一するが、下面への取付けはさける方が好ましい。
ボルト長さおよび合成樹脂管等で張出し巾を加減する。

イ、電線路と直角方向に引込腕金を取付けた場合

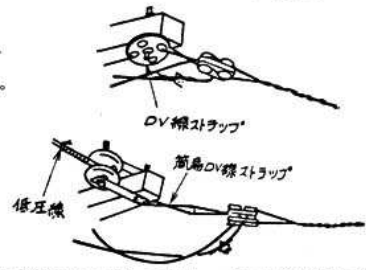


(注) 引込幹線の端子支持以降の余長は200mm程度とする。

7. 14mm²以下のDV線工事 (14mm²の場合は架空巨長20m以下に限る)

(1) 柱上引出点

原則としてDVストラップを使用して柱上引出する。



簡易DV線ストラップの引込線数は2引込までとし、次により使用する。

D V 線太さ	1引込の場合のこう長(m以下)	2引込の場合のこう長(m以下)
2.0 mm	1 5	1 5
2.6 mm	5 0	2 5
3.2 mm	4 0	2 0
14 mm ²	2 0	-

(2) 家屋側取付点

ア リングコースクリュを使用する家屋側取付点

リングコースクリュは造管材に雨水が浸入しないよう下向きかげんに取付ける。なお厚み2.0cm以上の造管材にリングコースクリュと直線的に張力が加わるように第1支持点を設ける。